

兵庫版

尼崎市名神町1丁目9番1
兵庫県借地借家人組合本部
発行人 田中祥晃
☎06-6429-1500
www.syakuya.com



第7回何でも相談会開催

8月29日午前10時から午前中に3名、午後から2名、合計5名の相談者があり、対面相談を行った。
の相談会には、尼崎労働、尼崎医療生協、尼崎連連協、尼崎生健会、兵庫借組、共産党県会議員・市会議員の各団体が1件でした。
借家人組合は当然家賃の問題の相談を行っ



コロナ何でも相談会に徳田尼崎市議(左)、相談者(中央)、田中組合長

次回ののご案内
第8回コロナ何でも相談会
9月26日午前10時~15時まで
尼崎教育会館ホール3階

相談者は78歳の高齢の単身者で1年前奥さんを亡くし、二人とも国保の年金で暮らしていたが、一人になり、月6万円の収入で家賃の支払いが困難になり、家賃を安くして貰えないかという相談であったが、収入面で家賃の減免より、生活保護の申請が必要ということだったので生活保護の申請は市会議員に依頼することになった。
二人目は、75歳の男性で奥さんと長男、長女の子供が二人あり、長男に自宅の家(20坪)を息子に相続させたいとの相談、本人が生前に息子に相続させると贈与となり、高い税金を払うようになるため、「遺言書」を作っておけば、本人が亡くなった後、相続させたい人に財産を相続する遺言書あればできること。その文書を公正証書にしておけばよいことをアドバイスをした。
相談の終了後、相談員から相談事項を報告し、次回の相談日を確認して終了した。

コロナ感染症再拡大に思う

6月は第1波のコロナ新規感染者が下降傾向が続いていましたが、7月に入ると、政府は多くの国民の声を聞かず、コロナ対策より経済を優先してホテルや観光産業に対し、国が格安のGO・TOトラベルを前倒して実施しましたが、経済効果が思ったより上がらず時期早々の批判の声が上がっている。

感染者が広がり、軍人軍族が日本人居住地に住んでいます。これまで政府は、濃厚接触者を追跡してPCR検査を保健所を通じて行われて来ましたが。これではコロナ感染症防止をすることはできません。

日本医師会やウイルス研究者などから新規感染者が減っている時にこそ、検査機関を充実することを指摘しました。次の3点が重要と考えますと述べています。

- 1、感染源を明確にして、濃厚接触者のみに限らず、その地域で働く人、学校、保育所、介護施設、高齢者などすべての人にPCR検査の実施・感染力のある無症状者を早期に見出し隔離・保護を行い感染拡大を防ぐこと。
 - 2、コロナ感染最前線で頑張っている医療機関に財政補填を行い倒産を防ぐ。
 - 3、休業自粛要請する場合、安心して休業できるように地方自治体に任せず、国が財政支援すること。
- 猛暑の中、マスクを着用しない、お友達と気軽に触れ合いたい。こんな日を早く安心して日常生活が送れるように心から望んでいます。

